

## 札幌市立中央中学校の取組

### 1 研究のねらい

#### ○ 公立図書館を活用した国語学習

「気になる『あの人』を探ろう —メディアの特性を生かして調べる—」

- (1) いろいろなメディアの特性やその違いに注意しながら、目的に応じた情報を集める。
- (2) 図書館やインターネットで集めた情報をレポートにまとめる中で、自分の考えを深める。
- (3) 学校司書と教科担任の連携による効果的なレファレンス活動を実践する。

### 2 学習内容

#### (1) 指導の全体計画

##### ① 第 1 時間目

インターネットのフリー百科事典「ウィキペディア」にある「北海道出身の人物一覧」ほかをテキストにして、個人個人が調べたい「北海道にゆかりの人物」を決定し発表する。(調べるための資料を十分に確保できるよう、様々なメディアが取り上げている人物を扱うようにする。)

##### ② 第 2 時間目

その人物について調べたい事柄を挙げ、どのメディアを使えば、正確にかつ効率的に調べられるかを考える。今回は、札幌市中央図書館にある書籍、新聞、雑誌などを効果的に使う工夫をする。(サブテキストを用いて中央図書館の効率的な活用法について学習する。)

##### ③ 第 3 時間目

収集した資料をどのように使って、レポートにまとめるかを学習する。(資料集などを用いて、新聞形式のレポートの割付けの仕方、見出しの付け方、リードの書き方などについて学習する。)

##### ④ 第 4 時間目

中央図書館内で、自分たちが選んだ人物に関する情報を集め、レポートにまとめる。(あらかじめ見込んでおいた書籍、新聞、雑誌などを探して、レポートにまとめるための情報を集める。)

##### ⑤ 第 5 時間目

前時にまとめたレポートを紹介し合い、他者のレポートと比較することによって、自分のレポートとの視点の違いや自分のレポートにおいての不十分な部分について知る。

#### (2) 中央図書館での授業の流れ

- ・ 午後の授業(5、6校時)として中央図書館の蔵書を活用した授業を行った。受入れ可能数が1日1学級(約40名)程度ということだったため、3クラスの授業を行うために3日連続の授業とした。
- ・ 最初は中央図書館の職員の方から、図書館の利用の仕方、マナーについての説明を聞いた。
- ・ 次に本時の課題を確認した。今回の学習テーマは、「自分で選んだ北海道

出身の著名人、北海道で活躍した人物についての資料を集めレポートにまとめる。」ということで、「レポート作成に当たっての資料収集」が本時の目的であった。そのため、前時までに学習した、図書館での資料の探し方や目的の書籍の情報を整理し、中央図書館1・2階の見取り図や目的の人物のフィルモグラフィなどを参考にして、レポートを書くために必要な書籍、新聞、雑誌などを探し出した。

- ・ レポートを書くために必要な資料が集まった生徒は、3階の講堂において、レポートの下書きを行った。
- ・ レポートが完成した生徒は、他の生徒のレポート作りを手伝うこととしていたが、時間が限られていることもあり、その段階に到達した生徒はほとんどいなかった。
- ・ レポートについては、ここで収集した資料を基に、次時以降の国語の授業の中で完成させることができた。

### 3 成果と課題

---

#### (1) 成果

- ・ ほとんどの生徒は、中央図書館を訪れたことはあっても、検索機等を使って具体的な資料収集などを行うのは初めての体験であったため、はじめは戸惑う場面などが見られたが、授業を通して、資料の選び方、探し方、まとめ方などを学習し、徐々に慣れることができた。
- ・ 公共施設を利用する際のマナーについて、自覚のない生徒が何人か見受けられたが、中央図書館の職員の方々の話を聞いて、一般の利用者のことを考えて行動するなど、公共ルールやマナーについても学習することができた。
- ・ 中央図書館の新聞資料、雑誌資料、書籍などいろいろな資料を活用して、各自のテーマを追究したレポートを全員が作成することができた。

#### (2) 課題

- ・ 中央図書館の利用に関する資料等を事前にいくつか入手していたが、教師側の理解も十分とは言えない部分もあった。そのため、学校における事前の授業の中で、図書館の利用方法について生徒たちに十分周知徹底することができなかった。例えば、図書館利用の際に中央図書館の職員の方や一般の利用者の方に、私語等で迷惑をかけてしまった場面があった。今後はさらに公共施設を利用する際のルールやマナーについて事前学習を徹底したい。
- ・ 今回のテーマは「北海道にゆかりの人物」を調べるレポートであったため、生徒の調べたい人物と教師側で調べさせたい(資料が豊富にある)人物とが、うまく一致しないこともあった。そのため、同じようなカテゴリーの人物を選んだ際、資料が不足する場面も見られ、せっかくの多種多様な図書館資料を有効に活用しきれないこともあった。あらかじめ時間をかけてテーマを選定し、必要な資料等の冊数を調整することにより、学習の効率や成果がより高まるものと思われる。